



## 寅年に思うこと

南部地域づくり協議会  
会長 佐藤 義明

今年の干支は寅。どんな年になるのか思いを巡らせた。寅年といえば、よく知られるのが「五黄（ごおう）の寅」。占いによると、今年は36年に1度の周期で巡ってくる強力な運気を持つ年とのこと。虎の雌は子煩悩で、独り立ちするまで大切に子育てするそうで、手放せないものを「虎の子」ともいいます。ちなみに雄はマイペースで何もしないとのこと。誰かに似ているかもと、ふと思ってしまいました。

さて、私ども南部地域づくり協議会もコロナ禍の中、十分な活動ができなまま2年が過ぎようとしております。しかしながらものは考えようで、世の中が変わるのは、大きな困難を乗り越えたときであり、その時は新しい文化なり生活様式が生まれてきました。今年はそうした考えから強い信念を持ち、必要な対策はすべてとり、事業推進に努力する所存です。高齢化や人口減少が進む中で大事にすべきは人と人の和であるという思いから、個人と個人、団体と団体、地域と地域のつながりを大切にし、相互理解を深めることに努め、「まとまりのある南部」を目指してまいりたいと考えております。

最後に、南部にお住まいの皆さまが明るく、健やかな一年を送ることができますようお願いつつ、あいさつと致します。



## 大好きな南部地域

南部市民サービスセンター  
副所長 中島 寿美子

日頃皆さまには、なんぴあ本館・別館、仁井田・大住・上北手の各コミセンをご利用いただき、またワクチン接種会場や避難所開設などにより、サークルの皆さまには度重なる日程・会場変更にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

なんぴあ副所長を務めて2年となりました。私自身は、北部地域の飯島在住ですが、大の南部地域ファンです。嬉々として、朝7時前に家を出て、国道7号から国道13号を經由して車で16キロの道中、コンビニでコーヒーを飲み、一息ついてから出勤の毎日です。

南部地域は皆さまご周知のとおり、収穫されるお米、野菜、山菜はとても美味しく、また広大な田園風景は見事で、歴史的な遺構も多々有り、感嘆しきりです。南部地域を探访し人、催し、文化などを毎月紹介している南部地域まちづくり専門員の吉川さんの「まちある記」は興味深く、発行を楽しみに待っています。

個性的な7地区が集まった南部地域は、益々、皆さまの知恵とパワーで魅力的に繁栄していくことと期待しております。

## 日赤“わけもん”による「地域にかだる活動」始めます！



日本赤十字秋田看護大学看護学部  
講師 萩原 智代



日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学は、歴史をひもとくと明治29（1896）年に始まった日本赤十字社秋田支部での救護看護婦養成に端を発しています。平成8（1996）年、校舎は中通から上北手へ移転。今では介護福祉士（短大）、看護師・保健師・養護教諭（大学）、助産師（大学院）を養成する教育機関として、南部地域の皆さまとともにあります。

今年度から社会貢献の一環として、南部地域づくり協議会のお力添えのもと、教員と学生による“地域にかだる活動”を始めます。健康や医療、福祉に関する適切な情報を発信し、南部地域の皆さまがいつまでも元気に暮らすお手伝いをしたいと考えています。まずは、南部地域の行事やサロンに出向き、皆さまと交流する予定です。学生や教員に「来て欲しい！」というご要望は大歓迎です。コロナ禍の状況とお付き合いしながらの活動となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

南部市民サービスセンター（御野場・本館）と南部市民サービスセンター別館（牛島）は多くの方が利用する公共施設で、登録サークルと一般団体が利用しています。登録サークルというのはあらかじめ、利用日時や会員名簿などを提出することによって定期的に施設を利用することができる団体で、令和3年度の登録数は本館60、別館74です。

## なんぴあ施設の施設利用にあたってのお願い

なんぴあサークル連合会  
会長 伊藤 榮二

業はさまざまです。施設利用についてですが、多目的ホールや地域文化ホール、音楽室、洋室、和室など、それぞれの施設は登録サークルが多く利用していますが、公共施設ですので、一般の人たちにも広く門戸を広げています。しかし、登録枠ではない時間帯を登録サークルの会員が利用するケースが見受けられます。令和4年4月以降のサークル登録申請が締め切られ、春から新たなスタートを切ることとなります。登録サークル会員の活動は、あくまでも登録サークルとしての活動であり、一般の方も利用できるよう、公平に利用していただくようご協力をお願いします。

## 大住学区体育協会40周年を迎えて

大住学区体育協会 会長 小木田 美喜子



昭和55年、この大住の地に住民待望の小学校開校と同時に誕生した大住学区体育協会が、地域の皆さまの温かいご支援のおかげで40周年を迎えることができました。当体協は、生涯スポーツの普及・振興を通じ、「健康と体力づくり」を目指しながら、地区住民のコミュニケーションやスポーツ少年団活動、城南ジュニアスポーツクラブを通じ、「青少年の健全育成」にも努めて参りました。しかし、コロナ禍で、スポーツ少年団や一般の方々とのスポーツ大会やイベントの開催が中止縮小の状況が続いております。その中でありながら大住学区体育協会は、地域の皆さまのご協力のおかげで、11月21日（日）秋田市内のホテルで40周年記念式典を開催することができました。式典の際、大住体協の発展・振興に貢献された方々に、大住学区体育協会から10名、スポーツ少年団より3名の方に感謝状を贈りました。また、地域づくり交付金を受けて、地域と体育協会が一丸となり40周年記念誌の発行に向けて取り組んでおります。

私たちは、皆さまのご支援・ご協力を得ながら、更なる十年に向けて努力してまいりたいと決意を新たにしたいと考えています。

## 編集後記

元号が平成から令和になってはや4年目を迎えました。今年も南部地域づくり協議会をよろしくお願ひ致します。

新型コロナウイルスの感染拡大でイベントができないうち、各地区の話題・活動報告に執筆していただいていた「魅力アップコンサート」を控え、急ぎよ、いつもより早めに発行することになりましたが、年末年始のお休みを執筆にあてていた方もいたようので、紙面を通じて感謝申し上げます。

各地区の話題・活動報告に執筆していただいた牛島地区の高橋信好さんですが、地域の子供会と一緒に「お花づくり」をしています。長年、町内や小学校周辺に花壇づくりを続けており、登下校の児童・生徒や地元住民たちの心を花で和ませてくれている活動です。近々、緑化功労者として表彰されるとのことです。おめでとございます。もうすぐ令和4年度がスタートします。コロナの収束を皆さんで祈り、新たな一歩を踏み出したと思います。



牛島東六丁目町内花壇・子供会

# 各地区の話題・活動報告

## 仁井田地区

仁井田地区市民憲章推進協議会防犯部

### 「仁井田路っこパトロール隊」の活動について



屋根に青色回転灯、運転席のドアには「安全・安心パトロール 実施中」と書かれた緑のパネル。こんな車がまちを走っているのを見掛けることがよくあります。仁井田、牛島、大住の各小学校の児童の見守り、そして仁井田地区の安全、安心なまちづくりを推進するために結成された通称「青パト」と呼ばれる「仁井田路っこパトロール隊」のパトロール車です。

「仁井田路っこパトロール隊」は平成18年4月に発足。現在は仁井田地区市民憲章推進協議会防犯部に所属しています。大きな目的は地域の犯罪、事故、災害被害の未然防止、地域との連携による犯罪抑止機能の向上で、熊谷勇隊長以下18人の隊員が、県警本部長から指定を受けた4台のパトロール車（隊員の自家用車）で地域をパトロールしています。

日常のパトロールに加え、今年度は隊員の再講習会を行って個々の隊員の資質向上を図ったほか、全国地域安全運動出動式、年末・年始特別警戒出動式にも参加するなど、活発に活動しています。県警本部長表彰、また東北管区警察局長から東北管区優良防犯団体表彰されたこともあり、隊員は引き続き地域の子どもたちの見守りを中心に、安全・安心を推進する防犯活動を続けることにしています。

## 牛島地区

まちを健康で明るくする皆の会  
事務局長 高橋 信好

### 「皆の会」を創って、活動して



字体が珍しい無車の句碑



野草に囲まれた和風の句碑

「まちを健康で明るくする皆の会」をご存知でしょうか？

牛島地区を拠点に、他団体の行事や催し物と重複しない、特色ある独自の活動に主眼を置いて活動する会です。立ち上げ時は「私達の住む町について語り合う会」（牛島地域包括支援センター主導で令和2年8月結成）で、「身近で手軽に誰でも参加できる催し物を」と8人でスタート。後に「まちを健康で明るくする皆の会」に改称しました。

コロナ禍での船出ということで、活動の第1弾は令和3年1月28日の「マスク作り」としました。さらに「小豆・玄米カイロ作り」（3/15）、「桜ウォーキング」（4/15）と回を重ね、「城南坂ウォーキング」（7/26、8/3）は2回開催。また、地区内の知られざる句碑を訪ねる「句碑ウォーキング」（10/27）は好評で、12月には「そば打ち体験」を10日から金曜日に3週連続で開催。年間計9回のイベントで延べ120人の参加者を数えました。

季節感あふれる催しに加え、牛島地区の歴史に触れたり、隠れた由緒ある場所を探訪したり、地元の小・中学校と交流したりと、本格始動後は幅広く活動できました。今後も「牛島再発見」を命題に、ユニークな催し物を実現していきたいと考えております。



令和3年4月15日  
第3回目「桜ウォーキング」



令和3年12月17日  
第8回目「そば打ち体験」

## 大住地区

大住学区振興会 会長 進藤 征喜

### 「災害時要援護者の避難支援」について

新型コロナウイルスの感染拡大、また変異株オミクロンの急激な拡大は世界を震撼させました。その影響で実施できなかった事業が数多くありましたが、コロナ禍であっても地域として継続して行っている取り組みがあります。その一つが「災害時要援護者の避難支援」です。秋田市では平成22年3月、地域の支援体制の確立を目的に「災害時要援護者の避難支援プラン」が策定されています。

これは一人暮らしの高齢者が一人で避難するのは難しいことから、近隣者による安否確認、避難誘導しようというものです。あらかじめ「避難支援対象者名簿」に要援護者を登録、地域で情報共有して個別避難支援プランを作成、一連の避難支援を行っています。大住地区では昨年、新規に9町内の14人を登録しました。

平成29年7月に発生した豪雨による洪水の際はこのプラン作成が役立ちました。プラン作成はもちろん、普段の近隣同士の声の掛け合いが何より大事です。自助・共助・公助に「近助」を加え、災害に対して強い危機感を持って行動できるようにしたいものです。コロナの収束を願いつつ、今年こそは町づくりのための活動を進めたいと思います。



## 上北手地区

上北手地区振興会  
副会長 工藤 等

### 「上北手地区コミュニティセンター」改築計画について



現在の建物

地区待望のコミセン改築計画が進行中です。造成工事はJA「いぶきの里」の南側で既に終わり、建物の完成は令和5年度の予定です。現在のコミセンは、上北手地区15町内、1,200世帯

の交流促進の場としては手狭で、近隣の施設にその都度出向かなければならないのが現状です。建築に関しては管理運営委員会で「要望」の取りまとめをしていますが、さらに幅広い知識を得るため、これまで3地区のコミセンを見学。地区の特色を生かした施設、あるいは老若男女を問わず幅広い年代の方が満足できる施設にするため活発に意見交換をしています。なるべく多くの要望に応えるため、試行錯誤しながらですが、徐々に充実した内容になってきたという印象です。

完成した施設では、趣味を主体としたサークルの登録を進め、また、多目的ホールでは各種スポーツを楽しむクラブを募集したいと考えています。今から広報活動を進め、住民の交流をさらに促進させる施設にしたいと思っています。

## 四ツ小屋地区

四ツ小屋上町内会

### 参道を明るく照らして初詣

四ツ小屋上町内会では、平成28年から毎年、12月31日の夜～1月1日早朝まで、四ツ小屋神明社参道の両側に100個の灯笼を設置し、点灯しています。

この行事は、参道にLEDの防犯灯はあるものの、数が少なく暗いことから、初詣に訪れる参拝者が、寒い中でも明るい気持ちで新年を迎えることができるようになればとの思いからはじめたものです。

最初の頃は大きいペットボトルを加工し、その中にろうそくを入れていましたが、雪や風のため途中で消えることが多かったことから、昨年度からは、LED電池の入ったミニ灯笼を支柱に取り付けるようにしました。

今後も地域の皆さんが、気持ちよく初詣に訪れることができるよう灯笼の設置を続けていきたいと考えています。



「スポンジテニスってどういうの？」とよく聞かれます。知名度はまだませんが、バドミントンコートで行うテニス競技といえは分かりやすいでしょう。ボールがスポンジでできているだけで、ボレーやスマッシュで打ち返すあたりは普通のテニスと一緒にです。スポンジのボールは軽く当てるだけで飛び、当たっても痛くないので、初めての人もすぐに楽しめます。

なにより本館の多目的ホールが耐震化工事のため、現在は毎週水曜日に四ツ小屋小学校の体育館で楽しんでいます。時間帯は午後7時～午後9時です。興味のある方、やってみてほしい人は、3月までは小学校の体育館でお待ちしています。問い合わせは0990-1297615947伊藤まで。



スポンジテニスのラケットとボール。テニス用に比べ、ラケットは短く扱いやすい

## サークル紹介

ゲームに時間を割くという流れで練習しています。中には秋田市の大会や県大会に出場する腕前のメンバーもいますが、社会人になってから始めたという人も少なくなく、見学、初心者、大歓迎です。和気あいあいのサークルなので、コロナが収束すれば、季節に応じた飲み会も復活したいなと思っています。

本館

活動日 第2・4木曜日 午後7時～午後9時

別館

活動日 第1・3木曜日 午後7時～午後9時

# 各地区の話題・活動報告



米沢市営体育館

## 【南部地域づくり協議会】

〒010-1424 秋田市御野場一丁目5番1号  
電話 018-838-1211  
FAX 018-829-5311



別館

〒010-0062 秋田市牛島東六丁目4番5号  
電話 018-853-5727  
FAX 018-853-5728